

じゃあ、もう男の子やめちゃいましょうよ♪ —ふたなり後輩のメス奴隷調教—

第1話 先輩ってば、オナニー猿♪

☆生徒はみな下校した、夕方の保健室。ガラガラと引き戸を開けて、誰かが入ってくる。顔をすべすべとした感触が覆い、いたずらっぽい声が投げかけられる。

(00:08)

ふふっ……だぁ～れだっ♪ おお、即答。よくわかりましたねえ、そうです、先輩の、先輩だけのお……愛しい愛しい後輩ちゃんです♪ ふふ、嬉しいですっ！ ちなみに、どこでわかりました？ 柔らかい指ですかあ？ それとも、ふわふわ～っと漂ってる、女の子特有の甘いにおい？ あ、おっぱいちっちゃいから、とか言ったらただじゃおきませんからね♪

(00:58)

……ええ～っ、そんな、「がっちがちに硬くて汗のにおいふんぷん撒き散らしてるチンポが背中当たってるからわかった」、なんてえ……先輩ってば女の子をオチンポのついたケダモノ呼ばわりするんですかあ！？ えーんえーん、悲しいですう……ま、ついてるんですけどね♪ こーんなにかわいい女の子の股間から生えてるなんて想像もできない、長くて太くてえっぐい巨根っ♪

(01:35)

ふふ、ふふふ……それでえ？ 先輩はいったい、なんのために……みんな下校した後の保健室なんか忍び込んで、私を待っていらっしやっただけでしょ～かあ♪ ……は？ 先輩にいまさら守るプライドなんてないでしょ。さっさと答えなさい？ ……そうですよねえ♪ 先輩はあ……

(02:08)

私の、ふたなりメスチンポ♪ 保健室まで歩いてくる間に勃起しちゃったオチンポ♪ 学校生活一日分の汗をし～っかり溜め込んだ、においのキツイチンポ♪ これが欲しくてたまらないから、こんなところで待ってたんですよ♪ で、今日はどうします？ 私は、たぷうん♪ っと重たいキンタマの中身出し切れればなんでもいいんですけどお……おてて？ お口？ そ・れ・と・もお……ま、とりあえず服脱ぎましょうか？

☆「先輩」、服を脱ぐ。その情けない裸体に、後輩ちゃんは嘲笑を隠し切れない。

(03:03)

はい、全裸あ～♪ こら、こざかしく股間を隠さない♪ ……あれ、意外ですね。まだおちんちんちっちゃいまんまですか……あ～っ、ごめんなさい♪ それ、勃起してるんですよ♪

もう、最大限に血液どっくんして一生懸命膨れ上がってるのに、私のオチンポの半分くらいしかない、かわいいかわいい短小おちんちん♪ ふふ、かわいいけど.....かわいそっ♪ そりゃ〜そんなおちんちんしてたら、先輩の目の前でゆらゆら揺れてる、ごりっ♪ と立派な、オス♪ って感じのオチンポに憧れちゃいますよね〜え♪ ゆらゆら、ゆーらゆら.....ふふ、必死に目で追っちゃって、ばっかみたい♪

(04:09)

あー、なんか気が変わりました。私、先輩がオチンポで気持ちよくなってるのが見たいなあ.....いや、なに目えギラつかせてんですか。私は何もしてあげませんよ、先輩が一人でしごいて、一人でイクんです。オナニー、してください♪ どうせ先輩、家ではゴミ箱が妊娠するくらいセズリぶっこくくらいしかやることありませんもんね♪ セっせと磨き上げた自慢のオナテク、見せてくださいよ♪

(04:48)

おやおや、生意気にも抵抗しますか。あーあ、まったくしょうがない先輩ですねえ.....特別にオカズを用意してあげますよ、私ってばやさしい！ んしょっ.....ほおら、先輩が毎日毎日思い浮かべてちんちんヌキヌキしてる、私のパンツ♪ これあげますから.....さっさとチンシコ、始めろや♪

(05:24)

そーそー、先輩が女の子に命令されてぞくぞくしちゃう変態なのは知ってるんで、素直に言うことに従ったほうが身のためですよ♪ さ、まずはそのおパンツをどう使うかですね。じろじろ見る？ くんくん嗅ぐ？ 脱ぎたてほかほかですから、舐めちゃったりなんかしたらオマンコの味がするかもしれませんよお.....

☆手渡したパンツに迷いなく足を通した「先輩」を見て、後輩ちゃんは嫌悪感を覚えつつも高揚していく。

(05:55)

うわあ♪ こいつヤバっ♪ はいちゃったよ、後輩女子のパンツはいちゃった♪ うわ〜っ、勃起してもチンポちっちゃいからパンツに収まっちゃうんですねえ、うらやましい♪ 私なんかもー、授業中に勃っちゃったりすると、必死でハンカチで隠したり、こっそり持ってきたオナホにザーメン出したり、大変なんですよお♪ って、聞いてないし。そんなにパンツコキが気持ちいいんですね♪ リボンのところつまんでくりくりって裏筋いじめて、それって女の子がクリでオナニーするときのやり方じゃないですかー♪

(06:44)

いいですね〜いい感じですねえ♪ あーとかうーとかきったない声漏らしながら、チンポ汁ぶちまけたくてちんちんしゅこしゅこしゅこっ♪ ほらもっとっ、もっと早く、もっとたくさんおてでサオ擦って気持ちよくなあれ♪ しゅっしゅっ♪ しこしこ♪ ぐにぐにく

りゅくりゅ♪ 膝立ちでちっちゃいオチンポこきこきっ♪ は一、手の動きめっちゃ慣れてて気持ち悪いです♪ いくら気持ち悪って言われたって、先輩の耳はそれを気持ちいい信号に変換して感じちゃうんですもんね、あー気持ち悪い♪

☆自慰に集中しすぎて、前後不覚になる「先輩」。後輩ちゃんは歩み寄り、ゆらゆらと力の入らない身体を支える。

(07:31)

ん、膝に力入りませんか？ いいですよー後ろに倒れちゃって。頭ぶつけないように支えてあげますから……あ、でも頭でもぶつけた方が先輩のドン引き性癖の改善には役立つのかな？ ウソですウソです、先輩はそんなよけいなこと考えずに、チンポしごき続けなさい♪

(07:59)

はあい、そうそう……ってなんですか？ この体勢。ブリッジみたいにのけぞりながら、おパンツにぎっしり詰まったオチンポをぴいーんっ♪ っと高あく天井に向けて、私のキンタマ汗の染み込んだ生地をなんとかサオに張り付けようと死に物狂いでオナニー♪ バカな姿勢でオチンポずりずりすると、いっぱいまぬけな声出ちゃいますねー♪ もうなんか犬とか変態とかそのレベルじゃなくて、台所とかにいる知らない虫♪ 私の中の先輩の評価、今それくらいまで急落中で一っす♪ バーカ♪

☆スカートを覗こうとする「先輩」を、背筋をぞくぞくさせながら煽る後輩ちゃん。

(08:44)

ほらほら、この体勢だと……よいしょ。先輩の顔の横にしゃがみ込めちゃうんですよーうん、近くで見るとますます気色悪い表情ですねえ♪ ほっぺたまっかっかにして、目え潤ませながら……あーあよだれまでこぼしてっ、はっ、あぁっ♪ ……先輩が気持ち悪すぎてオチンポがゾッとしちゃいました♪ ほーら先輩？ 首を横に倒して……見えますかぁ？ ふふっ、私、ノーパンだからスカートからキンタマがぼろん♪ しちゃってえ……がんばればオチンポも下から覗きこめちゃうかもしれませんね♪

(09:41)

あははっ、すごいすご〜い♪ カメさんみたいに首伸ばして、スカートの影に入ろうとしてるう♪ おてては自動でセルフオチンポいじめできちゃうから、痴漢行為に集中できますね〜♪ 先輩は意識してないでしょうけど、手の動きすごいですよ？ カリ首も裏筋も気にせずちゅこちゅこちゅこちゅこ、そんなシコリ方したらちんちんイタイイタイになっちゃいますよお♪

(10:16)

私のオチンポも先輩に捕まったらあれぐらい激しく摩擦♪ されちゃうんですかねえ、怖いなあ.....あはは、ちょづいてんじゃねーよ変態♪ ほらほら、私が腰を揺らすたびにキンタマがたぽんたぽん♪ あー、先輩の鼻先に当たっちゃいます〜♪ う〜ん、鼻息あっらい変態ヤローがギリギリで絶対触れられない距離でオチンポぶらぶらさせるの、楽しすぎか〜？

(10:59)

あ！先輩がただの変態じゃないってこと、忘れてました.....実際に触らなくても、それどころか見えなくても、スカートの下からひらひら漂ってくる股間の蒸れた香りだけで充分センズリのエサにできちゃうんですよえ♪ ひっ♪ やっぱ、今ちょろっとだけカウパー漏れたのも嗅がれちゃってるかもお♪

☆後輩ちゃんは限界の近そうな「先輩」を見て、甘やかすような声で射精へと促す。

(11:26)

うわ、もう先輩私のおパンツと汗蒸れチンポのにおいで大満足射精キメる気まんまんじゃないですかっ♪ いいですよー、見ててあげますからいっぱい出しちゃいましょうね♪ ほーら、センズリきもちー♪ 大好きな後輩に見てもらいながら、大好きな後輩のオチンポ嗅いで♪ 大好きな後輩のおパンツ被せたおちんちん、シコシコするのきもちーね♪

(12:01)

イっちゃう？ イっちゃうね♪ オチンポから気持ちのいいお汁出ちゃうよね♪ いいよイこ♪ 大好き大好きっていっぱい言いながら射精しよ♪ 10から数えるから、数字一つごとに大好き〜って言って、0になったら射精♪ わかった？ いくよ〜.....

(12:29)

10、9、8、7、6、5、4、3、2、1、はいスト〜ップ♪

☆「先輩」の恨めしげな顔もどこ吹く風、適当な調子で自分のペニスへと話題を変える後輩ちゃん。

(12:45)

ふふっ、チンポめちゃめちゃびくびくしてるっ♪ あっはは、なんですかその顔♪ 信じてた後輩ちゃんに裏切られてオチンポ射精させてもらえなかった、みたいな。そのまんまか♪
なんで、って、先輩は私のこと大好きなんですよ？ オチンポついてる私のことが♪ そんな大好きな人を置いて先にイこうなんて先輩ひど〜い♪ 私のオチンポもたらだら涙流しちゃってますよお♪ え？ 私も先輩のこと大好きですよ、簡単に嗜虐欲満たせるおもちゃとして♪ はいはい、先輩のガチ恋とかどうでもいいんで。そんなことより私のチンポのほうが大事でしょ♪

(13:41)

ほーら、先輩のオナニー見て、もうこんなになってるんですから♪ スカートでも隠せないくらいの勃起♪ おへそに張りついちゃうかと思いましたよ♪ まーそれもチンポおっきいからなんですけどねー♪ ふふ、生チンポ目にした瞬間さっきまでのショック忘れちゃってあはあしちゃってるじゃないですかあ♪ いやですよお、無理矢理押し倒したりなんて♪ まあいじめられて喜ぶ変態なんかに負けるほどじゃないんで、私。

☆おもむろにかばんを探り、後輩ちゃんは愛用のオナホールを取り出す。これ見よがしにシリコンの筒を揺らしたり、中を唾液で満たしたりしながら、あくまで「先輩」をなじり続ける。

(14:20)

……えーっとお、あ、あったあった♪ チンポいじりしか能のない先輩ならわかりだと思うんですけど、このぷるぷるしたピンク色の筒みたいなもの……なんでしょう？ そうですねえ、オナホール。オチンポを中に突っ込んでずっちゅずっちゅしごとく、手でするよりとっても気持ちいい射精ができちゃうおもちゃです♪

(14:55)

あ、でもローション忘れちゃった……よだれでいっか♪ むじゅ、んじゅる……じゅる、ちゅぷ、ちゅくちゅく……んぺっ、ぷっ、ぷちゅ♪ あえ〜っ♪ あは、勢い余ってオナホにチューしちゃいました♪ まあ先輩なんかとするより100倍マシですけどね♪

(15:29)

んふふっ、それで私、今からこのおいしそ〜なよだれまみれのオナホ使ってキンタマのむらむらぶっこ抜くんで、先輩はそれをただただ見ててくださいね♪ くれぐれも、オナニーとかはしないように。冷静に考えると、なんで私が先輩のクソ雑魚センズリなんか見てちんちんイライラさせなきゃいけないんだか♪ そんなものがオカズになるわけないでしょ、むしろちんちん以外がイライラするっつーの♪ 私のでっかいオチンポがずっぽずっぽオナホに出入りするダイナミックな光景で充分です♪ はー、ちんちんちっちゃいとオナペットにもなれないんですね、かわいそうに♪

(16:21)

あはははっ、いいですねえその目〜♪ チンポ射精を一言で寸止めされて、理不尽なのに、怒りたいのに♪ 自分が後輩より下の存在だって理解してるから、恨みがましく睨むくらいしかできない、卑屈な目つき♪ んんっ♪ ダメですって、その顔オナニー姿の百倍チンポにクるからっ、キンタマがずずず♪ ってはりきっちゃうからっ……は、ああっ♪

☆どこまで本気かわからない調子で、「先輩」を誘う後輩ちゃん。罠かもしれないとわかっていても、「先輩」に断るという選択肢はない。

(16:59)

んっ♪ ふー、わかりましたよ。このオナホ、先輩にも使わせてあげますから♪ ほらこっち来て？ 早くしろ♪私の前に立って、腰突き出して.....もっと、もっとです。チンポとチンポが触れ合うくらい.....あはっ♪ ほんとにオチンポくつついちゃったあ♪ あ、この程度でいったら射精禁止100年ですからね、しっかり耐えてくださいね♪ それじゃ、私と先輩の仲良しチンポを二本まとめてえ.....ぱっ、くんっ♪

(17:50)

ひゃあああんっ♪ あ、あっははっ、二本挿しなんてほんとにできるんですねえ♪ ま、先輩のチンポがちみっちゃいからですけど♪ 短小チンポに生まれてきてくれてありがとうございます♪ 感謝の気持ちをこめてオナホコキ♪ 始めちゃいますねえ.....んあっ♪ シリコンマンコが上下っ、んうう♪ チンポ飲み込んでっ、吐き出してっ、また飲み込んでっ♪ はっ、ああんっ♪

(18:34)

ほらほらっ、先輩はチンポ短いんですから、しっかり私のチンポにぐりぐり裏筋押し付けないと、オナホからはみ出ちゃいますよっ♪ あっやああ♪ くう、堅さだけはいっちょまえの粗チンがずりゅずりゅ竿こすってっ♪ あーっわかりましたっ♪ これあれです、オナホの中に入れると快感倍増、みたいなちっちゃいパーツっ♪ 先輩ってば、妙に私の性欲中枢刺激してくると思ったらオナホの一部だったんだあ〜っ♪

(19:20)

くうっ、うあっ♪ はっっ♪ オナホっ、上下するたびにいい♪ ぐぼぐぼってやらしい音がしちゃうっ♪ はあはあ言ってる先輩のキモい喘ぎ声もBGMみたい♪ んっ、ふふっ♪ 気持ちよさそーによがってますねえ♪ 入り口らへんでくちやくちや擦られてるだけのくせに♪ オナ道具扱いされて、後輩メスチンポにいいように使われちゃってるくせにっ♪

☆後輩ちゃんは、最初から「先輩」のペニスの小ささをバカにするつもりでオナホールを持ち出していたのだった。もちろん自分の性欲を満足させるためでもある。

(19:55)

んあ、はああ♪ アホみたいに腰突き出してっ、先輩のチンポが甘えてくるっ♪ あーもお気持ち悪いなあっ♪ そんなプライドも脳みそも足りない先輩にい、いいこと教えてあげますね？ このオナホ、実は奥のほうが入り口の何倍も気持ちよくてえ.....先っぽをつかんでぐりぐり〜ってしちゃうと♪ っほおおおっ♪ あっ、はあっ、こーんなにえっぐい声出ちゃうほどつぶつぶで、こりこりしてて最高なんですけど♪ ま、ミニチンポの先輩には関係ないですよ、私のチンポとずりずりしあえるだけで幸せですもんねえ〜♪

(20:54)

は～っ、ふあぁっ♪ 腰のへんがぞくぞくしてきちゃうう♪ オナホールって気持ちいいなぁ♪ ま、なんかちっちゃいのがサオの裏側のほうで必死に、んっ♪ 動いてますけど。それもまあ、そこそこいい感じですかね♪ こーらっ、調子に乗るな♪ 先輩があんまり腰動かすと私がチンポ感じにくいでしょ♪ 邪魔するならこーして……私のチンポはまだ半分以上入ってるのに、先輩のだけ抜けちゃいましたね♪

(21:43)

イヤ？ まだ私と一緒にオナホ使わせてほしいんですか？ じゃ、これからも絶対服従♪ 私の言うことには逆らわない。わかりましたか？ ……わかりましたかって聞いてんですけど？ はい、いいお返事いただきましたぁ♪ それではもう一回、ずっぽり♪

☆まずは軽く、「先輩」に服従を命じる後輩ちゃん。摩擦による快感に嗜虐のもたらす愉悦が加わり、後輩ちゃんの興奮がますます高まっていく。

(22:14)

あ～っ最高ですねっ、ちょっとずつプライド捨てさせられて、それでも私じゃないと気持ちよくなれないから従うしかない、みじめな感じっ♪ うう、うううっ♪ キンタマの中でサド欲ぼこぼこ沸騰するう……ちょっとこれはあ、あんまり我慢できそうにないですね♪ すぐにでも濃ゆ～いお汁が吹きこぼれちゃいそうなぁ♪ んくっ、ふっ、はぁあ♪ あ、ごめんなさい先輩。スパートかけちゃってますけど、まあ射精とかはご勝手に。あくまで私のオナニーであって、先輩をイかせてあげるためにやってるわけではないのでっ♪

(23:07)

うっ、んん♪ 先っぽヤバいっ、オナホの突起に小突かれて……っ♪ ひゃっ、ゾクってきたぁ♪ チンポがっ、うあぁんっ♪ ぬぽぬぽオナホ動かすとっ♪ ふぁあ♪ ああ～っ……どくどくってカウパーが押し出されて、ナカがどんどんヌルってきちゃいますう♪ はぁっ♪ 何に？ って、決まってるじゃないですかぁ♪ 尿道をぐんぐん登ってっ、くるう♪ あったか～いザーメン汁っ♪ んう、うあ♪ もーすぐ出ますよっ♪ あっ、はぁあっ、これっ、いいですっ♪

(24:01)

チンポがイクっ、オナホできもちい絶頂しちゃうっ♪ んふあ、あぁ、ううん♪ キンタマ汁が無理やり出てきちゃっ、あぁあ♪ やぁっ♪ チンポがっ、チンポが、チンポがあっ♪ もっ、ダメえ、んうう♪ ザーメンでっ、出るう、ふぁあ♪ あっちよっそれダメっ、そんな暴れたらっ、根元ゴシゴシされたら、んおお♪ せーえきがっ、もおお♪ しゃっ、しゃせ、射精い～～っ♪

☆絶頂の瞬間ですら、後輩ちゃんは「先輩」を見下すことを忘れない。射精と罵倒は、後輩ちゃんの中では分かち難く結びついている。

(24:45)

あっ♪ あはあ〜っ♪ 出てる出てるあったかいのがどぴゅどぴゅ出てるう〜っ♪ びゅぐっびゅぐっ♪ って射精っ♪ 射精に合わせてオナホがぴょこぴょこ跳ねるうう♪ んっお♪ んおっ♪ だらしなく間延びした声出しながらザーメン出し、てえっ♪ はっ、くうう♪

(25:21)

えっ？ そうですね、入り口のほうでなんか控えめにぴゅるぴゅるしてますね、知らんけど♪ あっこれ先輩のチンポだったんですかあ♪ ちっちゃ♪ ざっこ♪ かわいそ〜っ♪ 射精の勢いまで女の子に負けて、先輩ってばほんとに負けるの好きなんですね〜っ、うう、うああ〜っ♪

☆絶頂を迎えれば用はないとばかり、どうでもよさそうに「先輩」を突き放す後輩ちゃん。

(25:51)

はあ、はあ、んううっ♪ はあっ、搾りきりましたあ♪ うわっ、もわあ♪ ってすごいエッチなお〜い♪ちょっと、そんな汚いアへ顔見せないでもらえます？ せっかく気持ちよ〜く射精したのに、冷めるんですけど。や、先輩が気持ちよかったかどうかなんて、そんなの聞くだけ脳の容量のムダですから.....あーもううっさいな、そんなだから童貞なんですよ♪ ほら、使用済みオナホもパンツもあげますから、好きにオナニーでもして自分を慰めてればいいでしょ♪

☆含みを持たせる言い方をしながらも、実質それは「先輩」への命令だった。

(26:45)

.....明日？ さあ、先輩が無様な姿をまた見せてくれるなら、来るかもしれませんね.....♪

2話 先輩ってば、おフェラ豚♪

☆前日と同じように、保健室を訪ねる後輩ちゃん。早速服を脱ぎ始める「先輩」の意表を突く行動に、困惑しながらも責め始める。

(00:02)

どーもで一っす……ってうわ、なんですかもう。私が入ってきたとたん、服脱ぎ始めちゃってえ……はいはい、ただみっともないだけのストリップで私の目を汚したいんですよね♪ でも、いまさら先輩の裸なんかで……って、ええっ!?

(00:26)

きっつしょ♪ キモいキモいキモいそれはさすがにドン引きですって♪ なんで私のパンツ穿いてるんですかぁ♪ そりゃ確かにあげましたけど……これはないわー、ズリネタにされるくらいは覚悟してましたけど、まさか直で穿いて、しかもそれを私に見せつけるとかないわー♪

(00:50)

だって、オチンポはまあ、先輩の小さいから入るでしょうけど、お尻とかさすがに、男子向けにはできてないっていうか……あーいいですいいです、どうせ「後輩ちゃんのパンツだぁグフフ♪」とか考えて、短いチンポおっきさせたまま一日過ごしてたんですよね？ 気持ち悪すぎて鳥肌立つう～……ついでにチンポも立っちゃいますう♪ あはっ♪

☆後輩ちゃんのペニスが勃起したと見るや「先輩」が駆け寄り、ひざまずく。後輩ちゃんは、見せつけるようにスカートをまくり上げる。

(01:22)

ねえ、先輩ってばワンちゃんなんですかぁ？ ……あ、ごめんなさい。さすがに失礼すぎましたね、だって、ワンちゃんはあ……そんなふうにおめめキラキラさせながら、ふたなりチンポのすぐそばにひざまずいたりなんかしませんから♪ かわいくて賢い犬と、無様で脳みそ空っぽな先輩を間違えるなんて、どうかしてましたぁ♪ ……ここまで言われてるのに、怒るところかむしろ嬉しそうな顔しちゃうんですね♪ こーんな救いようのない変態に、えっちな行為を強要されてる私、かわいそう……♪

(02:06)

よいしょ……チンポがおっきいとスカート持ち上げただけでぶるんって出てきちゃうんですねえ♪ うわ～すっごいはあはあしてるう♪ そんなに欲しがられちゃうと、若々しいボッキが反り返っちゃってうまくつかめないんですけど……抑えろって言ってもそのオチンポ顔、治まりませんよねえ♪

☆のぼせあがった「先輩」の頬を、屹立したペニスではたく後輩ちゃん。呆然とした「先輩」の表情に、嗜虐心がさらに加速する。

(02:34)

ほーら先輩、ちゃーんとオチンポ見ててくださいね♪ そしたら、こうして硬くてあっついメスチンポを握って、右に振ってえ……ばちーんっ♪ あっはは、ひどい顔お♪ さすがに

ビックリしました？ しましたよね～、まさか男に生まれて、チンポなんか顔はたかれることになるとは思いませんよねえ♪ もう一回いきまーす♪ ばちーん、ばちーん、ばちーんっ♪

(03:11)

はぁんっ♪ ごめんなさい、叩いたときの顔がおもしろかったんでつい、何回もしちゃいましたぁ♪ チンポ往復ビンタ、前からしてみたかったですよねえ♪ まあ、まともな人間はオチンポなんかでほっぺたを引っぱたかれるのは嫌ですから、先輩みたいなオチンポ狂いにしかできないんですけど♪ はい、もう一回。ばちんっ♪

☆留まることのない実力行使に、「先輩」はたまらず許しを請う。しかしその態度が逆鱗に触れ、後輩ちゃんは一言ごとに頬を叩きながら汚い口調で感謝を強要する。

(03:39)

.....あら？ やめてほしい、ですか。へーえ、どの口が言うんでしょうねえ。こうやって.....っ！ チンポで、何回もっ！ ほっぺたぶたれるのって！ どんな気持ちですかっ！？ 嫌？ 嫌なわけありませんよねっ！ だって先輩、私のオチンポ大好きですもんねえっ！ だったら気持ちいいって言って？ 言えよ、おらっ！ 自分のよりずっとおっきいチンポでえ.....頭ぶっ叩かれて気持ちいいってっ！ 幸せです、ってっ！ チンポビンタしてくださってありがとうございますって、言えっ！

☆「先輩」は、なんとか言葉を搾り出す。それを見た後輩ちゃんは態度を豹変させ、猫なで声であやすように先輩に接する。

(04:23)

はぁい♪ よくできましたぁ♪ ま、当然ですけど。自分のことを気持ちよくしてくれるオチンポですもん、先輩でもありがたい言えますよね♪ んんっ、その顔すっごくチンポに悪いですぅ♪ 嫌がってるのにお肉の塊にビンタされ続けて、その上お礼まで言わされて泣きそうになってるのに.....こーやって、さっきまで先輩をいじめてたチンポを顔の前に突き出されると、ほっぺたすりすりってして甘えちゃう♪ ふふっ、いい子いい子♪ 先輩の情けない姿でオチンポ発情して、カウパー汁出ちゃってますから.....ほっぺたに塗り塗りしてあげますね♪ 痛い痛いのとんでけ～♪

(05:21)

あー、わかりました。先輩、心配してたんでしょ。私がチンポビンタで気持ちよくなりすぎて、かわいがってもらう前に射精しちゃうこと♪ あはは、安心してください♪ 私だって、先輩の身体を楽しみ尽くさないうちにいくつもありませんから♪ というか、大きなお世話ですよ？ 何回も言ってますけどお.....先輩と私で気持ちよくなってるんじゃないかと、私が先輩を使って気持ちよくなってるんです♪ 先輩はそれで勝手に感じておちんちんぴくぴくさせてるだけですから♪

(06:03)

はいはい、怖くない怖くない♪ 別に危ないことはしませんから。そりゃ今のはちょっと痛かったかもしれませんが……先輩のおちんちんは、おパンツの生地突き破りそ～なほど大きくなって、もっとして♪ って言っちゃってるの、丸わかりですよお？ ふふ、身体は正直ですね、なーんて♪

☆後輩ちゃんは、悪びれもせず次の行動に移ろうとする。察しの悪い「先輩」をなじりながら、膨張したペニスをその顔の横に突き出した。

(06:32)

それじゃさっそく、先輩で……も一っと気持ちよくなっちゃいましょうかね♪ ねーえ先輩？ 勃起したオチンポが、ぐーんって先輩の顔の横に伸びてます♪ その上、先輩はさっきまでオチンポにぺちぺちほっぺを叩かれてたので、なんだかエッチな気分になっちゃってえ……オチンポがほしくてほしくてたまりません♪

(07:02)

さて、そんなときに先輩の取るべき行動はなんでしょう……わかりませんか？ 後輩チンポに欲情する変態なおかつ察しも悪いとか、ほんとダメですね先輩。しゃぶれって言うんですよ。そう、この、キンタマ性欲溜め込みすぎてギンギンに腫れ上がってるオチンポを……フェ・ラ・チ・オ♪ してくださいね♪

(07:35)

はいダメで一す先輩の指図は受けません！ 本来なら先輩から「後輩様の巨根オチンポしゃぶらせてください♪」って土下座で頼まれるくらいのことを想定してたんですけどね……好きって言うより言われたい、みたいな乙女心、わかりませんか？ ま、今に始まったことじゃありませんし？ ほら、乙女オチンポで今すぐわからせてあげますから、あーんしなさい♪

☆半ば強制的に、ペニスを「先輩」の口に含ませる後輩ちゃん。まんざらでもないが、恫喝は忘れない。

(08:09)

せーの、ぬぷぬぷぬぷ～♪ あははっ、苦しそう♪ そりゃ、ぶっといお肉の棒がお口の中をふさいじゃってるわけですからね♪ よかったですねえ先輩♪ 息を吸っても吐いても私……の、オチンポのにおいだけ感じてられますもんね♪ ねー、よかったねー♪ んふっ♪ 後輩オチンポもぐもぐさせてもらえて嬉しいねー♪ 顔じゅう赤くしてとろけちゃってえ……あ、でもぼーとしてるからって、齒あ立てたら……どうなるかわかりますよね？ ね♪

(09:05)

そうそう、そうやってしっかり唇を内側に織り込んで……は、ああ♪ んんっ♪ いいですよ、ぬるぬるして温かくて♪ こないだのオナホよりいいかもしれませんね♪ ふあ、ああ、あくっ♪ 短小チンポがオナホパーツなら、お口はオナホそのものですか♪ まったく……っ♪ 尊敬できる先輩ですねえっ♪

(09:46)

ほら、そろそろ動きますよっ♪ しっかり脚に力入れて、倒れないようにしてください！ んっ、んふっ♪ サオが、出し入れするたびに生温かい唾液でべちょべちょになって……つくっ♪ 最悪っ♪ 私の輝くような美白巨根が、んひいい♪ 先輩のお口で汚されてるうう～……♪ しかもなんなんですかねコイツ、目え潤ませながら後輩のチンポくわえて、気持ち悪うく微笑んでっ♪ こんなのにしゃぶられてると思うと、んお、おお、最悪う♪ ぞくぞくぞくってキンタマがっ、震えるう♪

☆なんだかんだで嬉しそうな「先輩」の姿に、後輩ちゃんも機嫌がよくなる。声色は明朗ながらも、言葉ににじむ攻撃性は昂進していく……

(10:52)

はあっ♪ だいたい先輩はあ……こーやってお口の奥にオチンポ突き入れられたらきゅんきゅんモード♪ チンポに恋するやべーやつになっちゃうくせにっ♪ ん……うあっ♪ いっちょまえに嫌がるふりだけはするんですよえっ♪ 男のプライド、ですか？ そんなもの先輩に残ってるわけじゃないじゃないですかっ♪ 女の子のオチンポフェラしちゃってる時点で終わってる変態やローなのに、ん、ううん♪ それだけじゃ気が済まずにほった膨らまして、先っぽあっためられるう……っ、ふああ♪

(11:45)

……っふう♪ 危ない危ない♪ 先輩があんまりにもかわいそうな人すぎて、優しい優しい私のオチンポがお情けでメスミルクこぼしちゃうところでしたけど♪ 残念ながらあ、先輩はきつくオチンポされればされるほど感じるドマゾさんだということは明らかなので……もっと激しくします♪

(12:16)

息できなくなっちゃうかな？ まあいいですよ、むしろ私のオチンポをお口いっぱいほおばって窒息なんて、先輩にとってみれば天国っ、えいっ♪ んふっ♪ お話の途中だからって油断しちゃダメですよ？ 先輩は生きてようと死んでようとオチンポに奉仕するのが仕事なんですから♪ いつお口ピストンが来ても、しっかりチンポ気持ちよくできるようにしましょうね～、んおおっ♪

☆「好き」の言葉を契機に、責めは一段激しくなる。それでも興奮する「先輩」の一挙手一投足を、後輩ちゃんは目ざとく見つける。

(12:55)

んふふっ♪ 先輩♪ せーんぱいつ♪ ほら、いっつもみたいに好きって言って？ おちんちんで頭いっぱいになりながら、それでも必死に搾り出した先輩の「好き♪」私、いますごく聞きたいですっ♪ ほら、腰止めててあげるから、早く早くっ♪ ん～？ 聞こえませんか？ ほらもっと大きな声で！

(13:32)

……ふふ、あっはは♪ ふごーふごーって、すっごいなあこのオナホ♪ おしゃべり機能までついてるんですね♪ オナホにそんなもんいらなないけどな！ つーかオナホの言葉なんてわかんないしっ、ただのオナグッズに好きだの嫌いだの言われたって困るだけだっつーの♪ このキモ男、まーた騙されてガチ恋しちゃってるよ、バーカっ♪ ちょっとは学習しろっ♪ おらっ♪

(14:08)

でも、それでも好き好きって言い続けるのが先輩の仕事ですもんねっ♪ あーっ♪ うあ、あっ♪ 口の中にむぎゅっとオチンポ詰め込まれててもっ、呼吸も満足にできないままぬぽぬぽフェラさせられちゃっててもっ♪ うっ、んんっ♪ こんなにひどい扱いしてくれてる私のことがどんどん大好きになっちゃうんですよ、ねえっ♪

(14:42)

あはは、わかりますよそんなのお♪ だ～って先輩っ、かわいいピンク色のおパンツの前っ、ふああ♪ みっちみちに張り詰めさせて♪ お口からもおちんちんからもよだれが止まらないの、丸見えだしっ、ふううん♪

☆喉奥への侵入に危機感を抱き、「先輩」は抵抗の意を示す。しかし後輩ちゃんはそれを理解したうえで切り捨て、言葉を発することのできない「先輩」を一方向的に責め立てる。

(15:09)

じゃーこのまま奥まで入れたらどうなっちゃうんでしょうねっ♪ あっは♪ びっくりして目がまーるく開きましたねっ♪ そうです、イラマチオですよイラマチオっ♪ もっ、もお～♪ 左右に首振ってイヤイヤするなんて♪ 先輩ってほんとに私のチンポをイラつかせることにかけてだけは世界一ですよねえ♪ そうですよ～、喉奥までチンポ突っ込まれたら首なんて動かさませんか？ 今のうちに精いっぱい、私に媚び売っとかないと、ねっ♪

(15:56)

はいっ♪ 今までよりもっと深く入っていきますからねー♪ んお！？ んっ、あっ……ははっ♪ 裏筋が舌のざらざらに擦れて～……えっ♪ わーっ♪ 変な感じいっ♪ 亀頭の、ほんとに先っぽだけ、ぽっかり空いた喉奥で自由なのに……んああ♪ あっ、キツっ♪ 全体的に、喉につながるやわらか～いお肉で締め付けられ、へええ♪ 先輩の喉マンコ、キツキツですよっ♪

(16:49)

しかも……おっ♪ びっくりしてるみたいにくるくる震えてるし、ほおっ♪ そりゃそうですよね、ねえ？ 持ち主がマゾだったばかりに、オチンポなんか突っ込まれるはめになってるんですもん♪ かわいそう♪ フツーの人なら一生知らなくていい快感知っちゃった喉奥で、せいぜい生きていってくださいね……っとおっ♪

☆とうとう頭を掴んでしゃぶらせるという強硬手段に出た後輩ちゃん。

(17:26)

う、んんっ♪ でも、これだときつすぎて動きづらいですよ～……あっそうだ、先輩のことオナホ呼ばわりしちゃってますけど、よく見たら頭の形も、こうやって……両側において当てて固定してっ、えへへ♪ 即席オナホハンドルです♪ これさえあれば、後輩チンポに喉の奥の奥まで犯してもらえますねっ！ え～いっ♪

(18:05)

あ……はあっ♪ やっぱりいっ♪ オナホと違って生き物だ……からっ♪ すっごい伸びる、吸い付いてくるっ♪ んはあ～っ、これ最高っ♪ ふふ、最高です先輩っ♪ んふーんふーって必死に呼吸してっ、その吐息が先っぽくすぐってくるしいっ♪ お顔全体に入って、ますますサオが、ああ～っ♪ ひっ♪ ぎゅ～ぎゅ～されてっ、へええ♪

(18:53)

ひっ、いい♪ こんな我慢できるわけないっ♪ 泡吹いてる先輩の頭掴んでがつつりピストンっ♪ あ～っダメダメっ♪ 先輩窒息しちゃうのに腰が勝手に動いてるう、ううん♪ あっひいっ♪ これムリっ、これムリですよっ♪ ねとねとした柔らかいお肉がチンポのまわりで波打ってえ♪ も、おっ♪ これじゃほんとに先輩っ、喉じゃなくて喉マンコじゃないですかあ、あんっ♪

☆この期に及んでの「先輩」の身体の反応のよさに、後輩ちゃんの嗜虐心は留まるところを知らない。生命の危機といったものすら後輩ちゃんは興奮材料にし、絶頂へ向かう激しさのままに「先輩」を罵倒する。

(19:31)

あっそうだあ♪ 先輩にも一応、ちんちんついてるんでしたよねえ♪ はああ、うあっ♪ どーします？ 一緒にいくの、許してあげますよお♪ んっ、あははっ♪ って聞こえてないかあ♪ 酸素足りてないもんなっ♪ 女子のチンポ、喉でしごくのが気持ちよすぎて死にそうなんだもんなあ〜っ♪ ほおらっ♪ ねばっこいザー汁でもっと喉ふさいでやるからさあ、んっ、あああんっ♪ 好きにイケよ天国でも地獄でもっ♪ 私のチンポでなら本望ですよ、えへへっ♪

(20:17)

そんなこと言われてまた締めちゃうんだっ♪ うあっ、ヤッバ、ヤバっ♪ 喉マンコおセックスでぎゅうう〜ってキンタマ上がってきちゃって、うああ、んんっ♪ ひいつ♪ お尻がぞくぞくするっ♪ マゾの死にかけイラマチオでっ、えっ、へええ♪ チンポ汁、出る、出ちゃいますっ♪ チンポっ、おお♪ イくのお♪ チンポイク、チンポっ、イクイクイクっ、ひゃああああ〜んっ♪

(20:56)

んーっ♪ ふうう、んう〜っ♪ はーっ、ああっ♪ チンポから出たお汁がっ、そのまま先輩のお腹の中にどぼどぼどぼ♪ って落ちていっちゃってますっ♪ おいしいですかっ♪ 濃ゆいチンポミルク、直飲みして♪ お味はどうですかっ、んん〜っ♪ うっわ〜白目剥いてるし♪ やっぱり気持ち悪いな〜っ♪ ふう、んっ♪ まだ出ますからあ、ザーメン汁で溺れないようにがんばってくださいねーっ♪

☆酸素不足でぼーっとする「先輩」を適当に言いくるめ、後輩ちゃんはさらなる行為に及ぶ……

(21:53)

……ふうっ、出た出た♪ 抜きますよー、ん……しよっ♪ うわー、なんか、喉汁？ みたいなのでオチンポてらてらしちゃってるう♪ おーい、先輩！ 生きてますう？ むー、反応ありませんねー……べったべたのオチンポでほっぺたを、ぺちぺち♪ ペちぺち♪

(22:33)

……あっ生き返った。せんぱーい？ 先輩はあ、死にそうなところを私のオチンポに助けてもらったんですよお……そうそう、お礼は大事ですよ、ね……って、あら〜♪ ありがとうのチューまでしてくれるんですかあ♪ へえ……そんなことしてくれちゃったら、まーた私の暴れん坊オチンポ、勃起しちゃうに決まってるんですけどお……♪ ねえ先輩っ♪ もう一回、お口オマンコ貸してくださいっ♪

3話 先輩ってば、メス肉便器っ！

☆「先輩」の家に誘われた後輩ちゃん。しかしまったくその舌鋒を緩めようとはしない。

(00:00)

おじゃましま〜す……ふーん、意外ときれいにしてるんですねえ。どうせ、私を連れ込む気まんまんて昨日の夜にでも掃除したんでしょうけど……においでわかりますよお♪ すん、すん……先輩、昨日は3発くらい抜いたでしょ♪ しかも全部、私と、私のオチンポをオカズにして♪ あはは、わかりやすいですね先輩はあ……

(00:40)

は？ いや別に？ 先輩みたいな単細胞の性生活なんて、考えるまでもなくわかるっただけですよ。私がいつでも先輩のこと考えてるからわかった、なんて……次そんなふざけたこと言ったら全裸で町中散歩させてやりますからね♪ あんまちょーし乗んな？

(01:04)

ま、盛り上がる気持ちもわかりますけどね♪ いたいけで清純な後輩女子をまんまと、ご家族の誰もいないお家に連れ込むことに成功したんですし……ねえ♪ あ、あとでご近所さんの誤解解いといってくださいねー、先輩とつきあってるとか、そういうこと言われるって考えただけでゴミみたいな気分になるんで♪ ふたなりオチンポマニアの短小男とか、こっちから願い下げで〜す♪ ごめんなさいっ♪

☆後輩ちゃんは「先輩」の浅はかな企みに乗るふりをして、ねっとりとした言葉で劣情を煽る。

(01:35)

それでえ？ わざわざドアの前に座り込んで、私の退路をふさぐくらいですから……さぞ、素晴らしい提案をなさるんでしょうねえ♪ いつものようにおズボンの、お股のところをずいぶん控えめに腫らしてらっしゃいますけど、まさかまさか、ただ又いてほしいなんてことじゃありませんよねえ♪ というか、高校生の男女二人が窓もカーテンも閉め切った部屋にいて、やることなんて一つしかないと思います、け・どお♪

(02:14)

ほーお、セックス♪ 先輩は私とセックスしたいとおっしゃるんですかあ♪ なかなか度胸のあるおもちゃですねえ……持ち主に、自分から性交渉を持ちかけるなんてねえ♪ これは、調教一からやり直し？ 300年間射精禁止？ ……なーんて、ウソウソ♪ 怖がらないの♪ というかそれはそれで楽しめちゃうのが先輩でしょ？ ふふ、いいですよ。セックス、しまししょうね♪ ずぼずぼ不純異性交遊、しちゃいましょうっ♪

(03:01)

んっふふ♪ それにしても、とうとうセックスしちゃうんですね……お股とお股をくっつけて、お互いのいやらしいお汁を混ぜ合わせてぐちょぐちょぐちょぐちょ♪ 出会ってから

まだ大して経ってないと思うんですけど、自分から誘ってくるなんて。先輩もなかなかやるじゃないですかあ♪ ちょ〜っと見直しちゃいました……

☆いきなり押し倒され、「怒ってない」と言いながらも怒り心頭な後輩ちゃん。絶対的な上位者として「先輩」を叱りつけるその声色には、いつものような冗談っぽさもない。

(03:30)

って、きゃっ！？ ちょっと、急に押し倒すとか、何考えてるんですか！？ あっ、もおっ！ やめっ……セーラー服はそうやって脱がすもんじゃないですよ、このド下手！ ちがっ、はああ！？ 「優しくするから」あ！？ それ本気で言ってるの？ おい、コラ、キモいんだよ！ やめなさいっ、やめっ……やめろっ！

(03:57)

……ふう。危なかったですね〜先輩。あと1秒遅かったら、先輩をレイプの罪で死刑にしようところでしたよ♪ え？ 怒ってない、怒ってないですよ〜♪ おい、ちゃんと私の目え見ろ♪ ごめんなさい、私が悪かったです……先輩みたいな、ちっちゃいちっちゃいおちんちん一生懸命ぷく〜って膨らませるくらいしか能のない性欲のケダモノには、きちんと一つずつ言ってあげなきゃわかんないんですよえ♪

(04:38)

おい無能。びくびくしてないでちゃんと聞けや♪ いいですか？ まず、先輩のぴっかぴかの新品、そのくせオナニーばかりしてるから黒ずんでる短小ゴミチンポなんて、入れられたい女の子がいますか？ 一人もいませんよ。普通の女の子ですらそうなんです。まして、私はオチンポついてますよね。しかもいじめられて快感覚えちゃうような情けないおちんちん……そんなものがオマンコに入るなんて、考えただけで全身に寒気が走ります。わかりますよね……わかるよな、マゾ野郎。お前がやらかしたのはそういうことだぞ？

(05:26)

あはは、怯えちゃって……ズボンの股間、しぼんじやいましたね♪ うんうん、いい心がけです。大きいオチンポの言うこと聞くのは当然ですから♪

☆怯える「先輩」をなだめすかすように、後輩ちゃんの一転して優しくなった声が響く。

(05:43)

で、そんな、生物として先輩より絶対的上位にいる後輩ちゃんの提案なんですけど、先輩……男の子、やめちゃいませんか？

(05:59)

ん？ だって先輩、男の子である必要ないでしょ。女の子の後輩にチンポの大きさに負けて、射精の量でも質でも負けて……ふつう恥ずかしくて男の子なんかやってられませんよねえ♪ それに今までだって、オチンポを目の前にしたらすぐ、プライドとか、人間の尊厳とか捨てちゃってたじゃないですか♪

(06:28)

ね、だから先輩なら、男の子であることも簡単にやめちゃえると思うんです♪ 似合うと思いますよお？ オチンポに媚びることしか考えないビッチになっちゃって、お尻セックス♪ 私のオチンポ、お尻の穴にハメちゃいましょ♪ ……はいはい、嫌がると思っていましたよ。そういうのいいかげん飽きたんですけどね……はあ～、ちょっとお耳貸してください……んしょ。

☆後輩ちゃんは「先輩」のほうへ身を乗り出し、耳に直接甘ったるい声を流し込む。かすかに残ったプライドを一つ一つふやけさせるように、丁寧言い聞かせ、心を屈服させる。

(07:05)

だいたい先輩、私がセックスしよ♪ って言ったら、まずお尻気にしたでしょ？ あのとき……ううん、私のオチンポしゃぶってるときも、私と一緒にオナホ使ってるるときも……最初の最初、私と出会って、私のオチンポ初めて目にしたときにはとっくに♪ 先輩は男の子をやめて、私にお尻を掘られることに決まっていたんです♪ 運命♪ 先輩が私にアナル処女捧げるのは、運命なの……♪

(07:53)

ねえ♪ 不思議だねー、今まで何も入れたことなんてないはずなのに、お尻の奥、むずむずしてきちゃったよね♪ それは女の子のサイン、それもオチンポ入れられて喜ぶ、変態でドマゾな女の子お♪ ……女の子になる？ 女の子になっちゃう？ なるんだねー、じゃあ先輩は今からあ……メスで～すっ♪

☆後輩ちゃんは最後の仕上げとして、「先輩」に挿入のおねだりをさせる。「先輩」の卑猥な想像を煽りながら、甘やかして雌の定着を図る。

(08:34)

あら、おめめとろーんとさせて……結局先輩のオスの部分なんて、私にちょっとささやかれたくらいで崩れちゃうものだったってことです。あはは、女の子になってもあんまり変わらないんですね、ごちそうを見るような目で私の股間ガン見するのは♪

(08:59)

ほーら、先輩の大好きなオチンポですよお♪ はいストップ、待て！ せっかく女の子なんですから、できるだけ硬くて太いの♪ 突っ込んでほしいですよねえ♪ オスを捨てちゃった先輩のみじめさでフル勃起してる私のメスチンポ♪ ……先輩が誘惑して、もっ

と勃たせてくれたら、きっとす〜っごく気持ちいいセックス♪ できると思うんですよ♪ いいですか先輩？ 先輩は今から、いやらしくオチンポに媚びを売って、ケツハメのおねだり……するんですよ♪ わかったら、服脱いで？

(09:53)

んっふふ♪ おっぱいがなくて、すこーしだけ骨ばってるところ以外は、完全に女の子ですね♪ それでそれで？ どんな誘惑をしてくれるんでしょう♪ 女の子の先輩ちゃん♪ ……猫さんみたいなポーズで、オチンポハメて♪ っをお願いしちゃう？ お尻の穴自分で広げて、こんなに気持ちのいい穴なんだよ〜ってアピールする？ なんでもいいですよ…… 思いついた中から、いっちゃんオチンポがびくついちゃうポーズで、いっちゃんカウパー汁とろとろ漏れちゃうセリフで、セックスのお願い♪ してください♪

(10:45)

……はあっ、キンタマ煮えくり返るう♪ なかなかいいじゃないですかあ♪ もっと、もっとですっ♪ ほら、ベッドに上がって続きどうぞ♪ んんっ♪ そうですね、仰向けに寝転んでお願いします♪ そっちのほうにすぐにハメられるんでっ♪ あ〜っ、先輩ってば想像以上にメスの才能あってっ、は、ああ♪ これ、街中でやったらあっという間にチンポが集まってきて、穴という穴犯されちゃうでしょうねっ♪ こーら、想像してぼーっとならないのっ♪ ダメです、ちゃんと私のオチンポだけ見て、私にだけ求愛するのっ♪ それではもう一声、せーのおっ♪

☆予想以上の「先輩」の淫乱さに、理性を手放しそうになる後輩ちゃん。「先輩」への配慮をかなぐり捨て、凶暴な本性に任せて自分勝手に快楽を貪り始める。

(11:51)

はい犯すう〜♪ まったく、処女のくせにおねだりだけでオチンポ様本気にさせるとか、とんだビッチ野郎ですね先輩はっ♪ ふ、うう♪ ほらちゃんと膝抱えて、オチンポ入りやすいようにしてくださいね♪ それではあ、ぴとっ♪ お尻穴に亀頭、直で当たってますよ♪ 熱いでしょ、私の先っぽ♪ うう、んっ♪ おい力抜けて、チンポ入らないだろ♪ ん、よろしい♪ じゃ、入れますよっ♪ やです、待ちません♪ はあい、ずぶずぶ〜っ♪

(12:49)

んひゃあああ♪ キツっ♪ それに熱っ♪ んうう♪ せんっ、ぱいっ♪ 処女喪失っ……おめでとう、ごさいまあ〜す♪ んっ、自分だけ裸で、あはあっ♪ チンポのついた女の子に犯される気分はいかがですかっ♪ 聞くまでもないですよねえ♪ ぎゅーって握りこぶし作って、ふああ、ふああって赤ちゃんみたいな、なっさけない声あげてっ♪ んっふふ♪ いいこと教えてあげますねっ♪ 私のなが〜いオチンポっ、まだ半分も入ってませんよお♪ 処女アナル、まだまだ掘り進めちゃいますう……っ♪

(13:50)

う……はあっ、入ったあっ♪ 先輩とは比べ物にならない巨根メスチンポっ、先輩のお尻の中にい……ぜえんぶ♪ 入っちゃいました、ああ♪ うわっ、きったないですね♪ よだれだらだら流れて止まんないじゃないですかあ♪ うう、はっ、ふああ♪ 顔もっ、真っ赤だしい♪ ま、まあそりゃ……そうですねっ♪ ずーっと欲しかった私のオチンポ、入れてもらえたんですもんねえ♪ 私もびっくりしてます、うんっ♪ 今までオチンポ突っ込んだ穴の中でえ♪ んあ、んっ♪ いちばん、ぴったり、はまるう……っ♪

☆肉の伝える快感が、後輩ちゃんの攻撃性をさらに増長させていく。すこぶる楽しそうに、後輩ちゃんは不穏な言葉を口にする。

(15:01)

ごめんなさい、ちょっとこれっ♪ 壊しちゃうかもしれないです、先輩♪ んん〜っ♪ だってっ、ただでさえキツキツなのにこのケツ穴っ♪ 全然私のチンポにあわせて、へええ♪ 緩んでくれないんですもん、くう、うんっ♪ 先輩だってごりごり押し広げられて苦しいでしょっ？ でもぎゅうう〜♪ って締めっぱなしでっ♪ あはああ♪

(15:43)

……あっ、わかりました♪ 壊してほしいんですねっ♪ 私のオチンポで、一生閉じないくらいがばがばのっ♪ ケツマンコにしてほしいんですねっ、くううっ、んんっ♪ いいですよっ♪ んはあっ♪ ふふっ、言っときますけど、壊れたところで私、責任取りませんから♪ 先輩はオスとかメスとか以前に、おもちゃなんだってことを、ほおっ♪ 忘れないでくださいっ？ 壊れたおもちゃは捨てるだけっ♪ しかもケツ穴がばがばだなんて、汚そうだししいい♪ あっ……ははっ♪ そんなこと言われてまたぎゅってしちゃうんですねえ♪ このドマゾっ！

(16:39)

ほおら、ほらっ♪ オチンポが前後に動き始めましたよお、おおんっ♪ ほおお♪ なんてこんなにつ、吸い付いて……ええっ♪ うあっ♪ 見た目もヤッバあい……竿がずぶずぶって入っていくときは、ケツ穴ぎゅううって押し込まれて、んんっ♪ くう、っふふ♪ 抜くときは、肛門がにゅうう♪ ってチンポについてくるう……気持ち悪う〜いっ♪ これ先輩が動かしてるんですかあ？ んっ♪ ふうん、勝手にこうなるんだあ♪ ますますドン引きですよお……はっ、うう、ああっ♪

(17:35)

くあ、ああっ♪ 先輩のナカっ、ぐっちゃぐちゃすぎい♪ ほんとに初めてなんですかあ？ あ、いらないですそういうロマンチックな感じ。別に先輩が処女だろうが、薄暗い路地でいろんなチンポをくわえこみまくってるケツ穴娼婦だろうがあんまり関係ありません……だっていまハメてるのは私なんですからっ♪

☆後輩ちゃんは腰を動かすのに慣れてきたと見えて、罵ったり甘やかしたりして「先輩」の完全なる雌としての開化を促す。

(18:07)

はあっ♪ それでえ？ いかがですかあ、新品おちんちんの童貞より先に、アナル処女捨てちゃった気分はっ♪ んんっ、こんなにケツ肉ずるずる動かして、聞くまでもないかなって感じですけど♪ んっ、く、うう♪ ま、人生に一回しかない処女喪失ですからっ、先輩の口から聞きたいなあ私、いい♪

(18:45)

「気持ちいい」……ですかあ♪ ふーん、つまんな。突いてあげたらおもしろい答え出ますかねっ、ほお……らっ♪ あっはははは、あっ、くうう♪ あはっ♪ きったね一喘ぎ声♪ でも言葉より全然切実ですっ……♪ ううっ、先輩があんあん鳴くたびにっ、キンタマの中からきゅうんきゅうん♪ って波が来ちゃうんですっ♪

(19:25)

まー、気づくべきでしたよねっ、私も♪ ああ、はあっ♪ 先輩の……おお♪ ちみっちゃいチンポ見たときにつ♪ あっ、この人は早くメス堕ちさせてあげた方がいい、ってっ♪ んああっ♪ 当然ですよ、こんな……オチンポ突き入れられて震え、てっ♪ ペちペちペち♪ ってかわいらしくお腹叩いてるおちんちん、ううん♪ こんなのオチンポじゃありませんっ♪ ちょっと大きめのクリトリスですよおっ♪ ねっ、だって、へえっ♪ 先輩メスですもんね、いまあ♪

(20:17)

ほら、先輩も言ってみて？ んっ、「わたしの」……そう、先輩は女の子なんですから、僕とか俺とかじゃなくて、「わたし」じゃなきゃダメですっ♪ 言ってみて？ 「わたしのクリトリス、後輩様のオチンポに突かれてきゅんきゅんして、クリ汁とろとろ流しちゃってますっ♪」って♪ はーやーくっ！

(20:55)

……あはははっ♪ なに素直に言ってんだよ、このマゾメス野郎っ♪ 表情まで完璧じゃん、ほんとに処女捨てセックスしてる女の子みたあ〜い♪ え、へえっ♪ んもー、先輩ってば、メスの才能ありすぎてえ……また私のオチンポが太くなっちゃう♪ よかったですね〜太いオチンポで突いてもらえてっ、あはああっ♪

(21:30)

もう……っ♪ 喘ぎ声だって、なんだかまぬけになっちゃってますけどお♪ んっ、ふうっ♪ 辛いんですか？ 苦しいんですかっ♪ あは、まあ当たり前ですよねっ♪ だってお尻の穴ってえ、えっ♪ こんなに太くてかったいお肉の棒が入るようにはできてないですから♪

(21:58)

出ちやいますよねえ、あ〜ん、あ〜んって高くてか細い声っ♪ でもそれ、っひいっ♪
「このメス穴、ずこばこハメて壊しまくってやるっ♪」って、我慢汁ぴゆるぴゆる止まんないはりきりオチンポの前だと逆効果っ♪ おケツマンコも〜っとがんがん掘られちゃうんですっ♪ おらっ、もっと喘げっ、おらあ♪

☆乳首など、多角的に「先輩」の身体を責め立てる後輩ちゃん。もちろんそれも自らの快樂のため、という不遜さは崩れることがない。

(22:29)

せーんぱいっ♪ お尻の快感に悶えながらでいいんで聞いてください♪ 女の子の身体ってほんとに、全身気持ちいいところでいっぱいなんですけど、おお！？はあっ♪ いいですね〜、それ聞いただけでお尻、びくってしちゃった、ふふっ♪ そんなふうに気持ちよさに素直な先輩ならあ〜、ここっ♪ ち・く・び♪ いじっても、感じちゃえるんじゃないかなあ、ああっ♪

(23:12)

.....おてて、暇でしょう？ ダーメ、私は触りません♪ おっぱいで気持ちよくなるなんて、ほんとに女の子みたい♪ だから、先輩は自分で乳首ひねって、つまんで.....自分で自分を女の子にしていくんです♪ ほーら、おいしそうに尖ってる乳首.....シコっちゃえっ♪

(23:42)

ひゃあ、ああっ、んうっ♪ へえ、そんなふうにスケベな触り方しちゃうんですね、先輩はあ〜.....っ♪ 女の子よりねちっこくて、いやらし〜っ♪乳首、お尻えぐられるのと違って.....じわあ〜って気持ちいいのが来るね〜♪ 脳みそがぼかぼかしちゃうよねっ♪ って聞こえてないかあ♪ あはは、アナルセックスに乳首快感が加わってえ♪ 背筋がぞくぞく♪ お尻がきゅんきゅんっ♪ ふうっ、んあ♪ 先輩の身体の中で、いろんな場所からの気持ちよさがケンカしちゃってるっ♪

☆前立腺のもたらず快樂を意識させ、狡猾に「先輩」を開発していく。後輩ちゃんはいくまで「先輩」のため、というような、空々しい甘言を口に続ける。

(24:35)

じゃあ、も一つといろんな気持ちよさを増やしちやいましょうね、んんっ♪ ほら、お尻のちよつと奥.....ぷくっ♪ って膨らんじゃってますね♪ これ、わかりますう？ あはっ、さっすがド変態.....そう、前立腺っ♪ 先輩のかわいいクリトリスから出るお汁を、一生懸命作ってくれてるところです♪

(25:11)

.....でもでも、それだけじゃなくてえ♪ 実はこの前立腺、おちんちんで突いちゃうと.....「おかしくなっちゃう♪」らしいですよ♪ 身体中の神経が目覚まして、全力で気持ちよくなろうとしてる、そんなときにい.....♪ お尻の中のアクメポイント♪ 先輩の中にほんのちょっとだけ残ったオスの部分♪ フル勃起メスチンポで、ごりごりすりつぶされちゃったら.....どうなっちゃうんでしょうねえ♪

(25:51)

怖いですよね〜♪ だって、おかしくなっちゃったら、気持ちいいのもわかんなくなっちゃいますもんね♪ 私のオチンポに掘られる幸せな時間.....いつまでも味わっていたいんだよね、うんうん♪ もう、お尻セックスだーい好きになっちゃったもんねえ♪

☆安堵しかけた「先輩」を、後輩ちゃんが混乱の底に突き落とす。震える「先輩」に最後通告を突きつけ、後輩ちゃんは最高潮の喜色を顔に浮かべて腰を振りたくる。

(26:18)

.....うん、わかった。じゃあ、突くね、前立腺♪ ん？ なに驚いてるんですか？ え、最初に言いましたよね.....先輩のこと壊す、って♪ あははっ、ほんとにバカですよねえ先輩♪ ちょっと優しくされただけで、すぐ恋人気分ですか。いま、先輩お尻掘られてるんですよ？ いちばん他人に触らせちゃいけないところ.....よりによって、オチンポに好き勝手されちゃってる♪ 気持ちいいだけの理由でそんなことしちゃうおバカさんはあ.....

(27:13)

壊れちゃえて.....言ってたんだよ♪

(27:18)

あはああっ！？ あはっ、あははは、あっはははははっ♪ ああ〜っ、ヤッバいいっ♪ マジでケツ穴壊れちゃったあ、っはははあ♪ ぶっ壊れたケツマンコの肉う、うあああっ♪ ぶるぶるぶる震えてっ、んんう〜、うああっ♪ まだ壊してほしいのかよおっ♪ ほおらっ、おらっ、おらあっ♪ ヤバいって、おいっ♪ オチンポで、ずんっ♪ って前立腺突くとっ、くうう♪ バカみたいに腰ががくがくしちゃうなあっ♪ う、はあ♪ チンポっ.....締め付けられて、引っ張られて、ヤバいいい♪

(28:11)

あははっ、ほんと家族がいなくてよかったなあ！？ お前っ、お前さあ♪ あっ、くああ♪ 親とかに申し訳なくなんねえのっ！？ 女のチンポにめっちゃめच्याに前立腺ぶん殴られてっ♪ ちっちゃいちんちんぶるんぶるん振り回しながら、んああっ♪ 犬みたいにつ、あんあん鳴き声あげてさあっ♪ そんなんでよく生きてられ、る、よなあっ♪ あはっ、はあーっ、はあーっ♪ ほらもっと鳴き声あげろよっ♪ ううんっ♪ 近所中に聞こえるくらいっ、「後輩様のオチンポでおケツ掘ってもらってまあーす♪」って鳴けよ、ねえっ♪

(29:05)

もーダメだなっ、もう……うっ♪ お前のケツ穴、もうチンポ抜いても閉じないガバアナルになっちゃったっ♪ ふあ、んあっ♪ ずう～っととろとろケツ汁垂れ流して、エロいにおいさせてメスチンポ誘い込む、ゆるふわケツマンコおっ♪ んっひひ♪ しかも並のチンポじゃ全然満足できない、私の巨根じゃなきゃふさげないっ♪ まあ気が向いたら犯してやるよっ、んおおっ♪

(29:47)

あはっ、なんだそれ、肛門きゅむきゅむさせやがってっ♪ バーカっ、そんなことされたらイきそうになるだろうがっ♪ もしかして、ケツで「犯してくれてありがとう」って言うてんのかよ！？ うあっ、あははっ♪ お前頭までおかしくなってるじゃねーのっ♪

(30:13)

うあ、ヤバっ♪ お前がそんな、メス肉便器だから……っ♪ 私のキンタマまでぶっ壊れたみたいになっ、ずっくんずっくん♪ っっっ♪ タマ袋の中で跳ねっ、跳ねてるうん♪ チンポザオの中、あっついキンタマミルクがぐんぐん登ってきて……っ♪ あっはは、これえっ、めちゃめちゃ濃いザーメン出るっ、出ちゃう♪ はああーっ♪ きっついケツのお肉に抱き締められてチンポ汁出るっ♪ とうとうパーになっちゃった先輩の、吐き気のするアヘ顔でチンポ汁出るうっ♪ 先輩でっ、先輩で先輩で先輩でっ！ チンポ汁っ、射精いい～っ♪

(31:12)

あ～～～っ♪ はっ、ああ～っ♪ ザーメン、びゅーびゅー出て、るうっ♪ んあ、ああっ♪ あはっ、先輩のケツマンコもイってるんですねっ♪ 私のオチンポ、ちぎれちゃいそうなくらいぎっちぎちに締め付けられてっ、んんっ♪ 根元からっ、むりやりチンポのお汁が搾り出されちゃってますう……っ♪

☆絶頂を経て、口調こそ柔らかくなるものの興奮のままに「先輩」を罵り続ける後輩ちゃん。やはり、性的な高揚と攻撃性が対応している。

(31:54)

アナルをそんなにかた～く締めて、私の精子、一匹たりとも逃がす気ないんだあ♪ えっへへ、もしかして先輩、お尻で妊娠しようとしてるんですかあ？ 本当にっ、んっ、くうう♪ バカですねえ～、後輩チンポで掘られて心の底から女の子になっちゃった♪ まあいいですけど、ふふっ♪ そんなに欲しいなら、キンタマの中に詰まってる種汁ぜーんぶ注いであげますから♪ ケツ穴オマンコでごくごく飲みなさい……ねっ♪

(32:48)

……っふう、出た出たっ♪ え？ 抜きませんよ♪ だってまだ、勃ってますよね？ 私のオチンポ♪ 別にいい？ ザーメンなんて、アナル掘ってるうちにまた湧いてきますからあ♪先輩の、クソ雑魚おちんちんとはモノが違いま〜す♪ あ、今はクリトリスでしたっけ。

(33:19)

なんか勝手にふにゃふにゃになって、クリ汁お漏らししてますけど……これがメスイキってやつ？ 乳首とお尻穴だけで射精なんてほんとにできるんだ♪ やーい、メスっ♪ マゾメスっ♪先輩ってば、身体のつくりまで単純でおバカさんなんですねっ♪

☆少し冷静さを取り戻し、後輩ちゃんはまっすぐに「先輩」を見つめる。呆れた調子を隠さないながらも、少しだけ照れくさそうに口を開く。

(33:46)

は〜あ、でもね、先輩。どうやら私のふたなりメスチンポは、バカで情けなくて、ケツ穴でイっちゃうメスの先輩が気に入っちゃったみたいです♪ ……笑ってんじゃねーよ、このバーカっ♪

(34:08)

ふふっ。ですからあ……先輩はこれから、私のおもちゃで決定です♪ オマンコどころか、おっぱい触らせてあげたり、キスしてあげたり……そういうことは、絶対にないんですけど♪ そのかわり、ずっとずーっと♪ 私専用の肉便器っ♪ まあ、拒否権なんかありませんけど……もし先輩もそれを望むなら、お尻、ぎゅっ♪ って締めちゃってください……んんっ♪ ふふ、いいお返事です♪ 簡単に壊れないでくださいね？ セーんぱいっ♪

4話 先輩ってば、短小だし情けないし(中略)でも、私だけのおもちゃ♪

☆間髪を容れず、二度目を始めようとする後輩ちゃん。終わったと思ってうろたえる「先輩」を適当にあしらひ、強権的に言うことを聞かせる。

(00:00)

あ、終わったと思いました？ ごめんなさい！ これからも、とか言って勘違いさせちゃいましたね。まだまだ私のタマ袋、空っぽになりそうもないんで……このまま、二回戦に突入しちゃいまーす♪ え？ いま、嫌がりました？ おっかしいなあ、先輩は私専用の精液お便所なんですよ……おトイレには好きなときに行って、好きなときにお精子コキ捨てるものですよね。私、間違ったこと言ってます？ 言っていないよね？

(00:45)

ダメで～～す♪ 口答えなんか許しません。ていうかオナホはしゃべりません♪ ああもううるさいなあ、じゃあ聞きますけど、今ここでもう一度掘られるのと捨てられるの、どっちがいいですか？あはは、バーカ♪ 素直にそう言ってりゃいいんだよ、どうせケツ犯されたら人間の言葉なんてしゃべれなくなるんだから♪

(01:17)

わかったら、さっさとうつ伏せになれよ.....早くしろ、オラッ！ ふふ、カエルみたいにびくびく震えてんじゃん。忘れてんじゃねーの？ まだチンポ入れっぱなしだから、お前のマゾ穴なんかすぐ突き壊せるんだからな♪ まあどっちにしろ壊すんだから、気持ちよくするか痛くするかってだけの違いだけ♪

(01:46)

ふああっ♪ あっ、これはなかなか.....っ♪ うわーコイツっ、尻穴犯されたままゆっくりゆっくり身体回してっ、んあっ♪ バックで生ハメされるために一生懸命じゃんっ♪ んっふふ♪ そうだねー、んっ♪ さっきいったばかりの前立腺にオチンポ当たっちゃうと感じすぎちゃって辛いもんねっ♪ まあ突きますけど、えいっ♪ ひや、ああっ♪ あー、先輩崩れ落ちちゃった♪ でもお尻気持ちよくしてもらうためだもんね、がんばろうねっ♪

☆後輩ちゃんはもはや悪魔的と言ってもいいような調子で、身もだえする「先輩」を嘲りながら行為に及ぶ。

(02:36)

はい、というわけでこちらが、初めての後背位に挑戦する先輩です♪ 大好きな後輩ちゃんと後背位♪ 初めての共同作業でとっても幸せですね、先輩♪ 先輩？ あららー、壊されるのはこれからだっていうのに、もうぜえぜえ言っちゃって虫の息♪ まあ、そんなことオチンポには関係ないのでえ.....終わったときに無事だといいですね、脳みそとか♪

(03:16)

それじゃ、ぐちゃぐちゃに突き壊していっちゃいましょう♪んんっ♪ 気持ち悪いっ♪ 生温かくて、うひっ♪ オチンポがなんの抵抗もなくずるずる入っていっちゃうう♪ ひいっ♪ ヤバいこれ、ほんとにお尻の穴なんですかっ！？ さっき中出したザーメンのせいですかっ♪ んあ、あっ♪ あっはは、まあ便器にはお似合いのスケベ穴だけど♪ チンポと見ればケツ穴差し出しておねだりするメス肉便器ですもんねえ、んっ、ひっ♪

(04:04)

んふっ♪ あははっ♪ オチンポがずんっ♪ って奥に入るたびに、びくんびくん♪ って身体跳ねさせちゃって♪ 先輩はほんとに淫乱ですねえ♪ ん、ひやあっ♪ お尻の中もすごいですよお？ ぬるぬるしたヒダヒダがっ♪ 私のカリ首に絡みついて、ええっ♪ うあっ♪ またそこでっ、お尻振ったらああ♪ ひいいんっ♪ 勃起チンポ、引っ張られてますう♪

☆突然大げさに感じ始めた後輩ちゃん。しかしそれは先輩を咎めるための罠だった。逃げ道の一つずつ塞ぐごとに、嗜虐心も高まっていく。

(04:44)

いやあん♪ もおっ、先輩激しすぎっ♪ わっ、私だっていったばかりなんですから、そんなに亀頭の粘膜、うう♪ あひいっ♪ ケツ肉でごしごし擦られたらっ、やああっ♪ えっ、ちょっと困るんですけどっ♪ 先輩を適当に壊して遊ぼうと思ってたのにつ！？ 私のオチンポのほうが逆にっ、ひいっ♪ むずむずする快感でおかしくされちゃいます～っ♪ ヤバっ、先輩のアナル、オチンポ搾りの才能ありすぎてえ……このハメ穴なしじゃっ♪ 生きてけなくなっちゃうう～っ♪

(05:40)

……なんちゃって♪ あははははっ、バレバレですよ。ムダに腰大きく動かして、できるだけお尻の中の弱いところに当たらないようにしてるでしょ？ おまけに、それがバレてないと思って調子乗っちゃった♪ ぶっといオチンポ、好き勝手にイかせられると思っちゃった♪ 誰かさんのお、肛門掘られてぷらんぷらん揺れてるザコちんちんと一緒にしないでくださ～い♪ はいお仕置き決定っ♪ んうっ♪ だから素直にアナルで感じてればいいって言ったのに、余計なことするからどんどんお尻が自分のものじゃなくなっちゃう♪

(06:31)

ぶるぶる動いてうっとうしかったお尻を、がっしり掴んじゃいます♪ ふふふっ、わかりますよね？ これだけで先輩はもう、どこ突かれても逃げられませんっ♪ まあ……っ、人間なら知りませんけど？ オナホにそんな機能いりませんから、は、うああっ♪ 気持ちよくなれば身をよじって、気持ちいい♪ って素直に表現できてた人間のころとは違うんですよおっ♪ 先輩は、もうっ♪ オスでもメスでもない……ただの、ちょっと余計なパーツのついた据え置きオナホール、です♪

☆もはや抵抗が許されないと悟った「先輩」、その様子を見て取った後輩ちゃんは、いよいよ勝ち誇った態度を露わにする。罵り、なじり、喘ぎ、やりたい放題に「先輩」を責め立てる。

(07:20)

くう、ううん♪ やっぱ先輩っ、ケツ穴だけは最高ですね～っ♪ なんでっ、んああっ♪ なんでこんなにつ、竿の血管の一本一本にまで腸壁がぐっぽぐっぽ吸い付いてくるんでしょうねっ♪ はっ、やあっ♪ あっ♪ わかりましたあ♪ オナホのくせに、私のメス巨根の形、覚えちゃったんだあ♪ んっ、ひいっ！？ そっ、それえ、ちょっとスケベすぎませんかあっ♪ 私専用のとろとろおケツマンコなんてえっ♪ こんな年で手に入れちゃったら、オチンポがどんどんワガママになっちゃいますよお、おっ、おおん♪

(08:17)

あれっ、これもしかして先輩の一番いい使い方、見つけちゃった……かもおっ♪ んっ、ひいっ♪ 後ろからなら、変態ヤローがアへってるのも見なくてすむしい♪ 泣かせようがイかせようが罪悪感の一つも感じなくてよくなりますからねっ、ひゃああっ♪ まっ、まあもとからそんなもん、ほんのちょっとしかないけどなっ♪ 自分勝手にセズリに使えるのがオナホのいいところなんだしっ♪ そもそも私の目の前にいるのは人間じゃなくてただのオナホなんだし、いい〜っ♪

(09:04)

ああっ、でもお♪ まだまだ余計なところがあるみたいですねえっ♪ ほお、らっ♪ んふふっ♪ 先輩の腰に、ぎゅっ、ぎゅって腰押し付けるたびに、ぱちゅっ♪ ぱちゅっ♪ って、お腹の下の方からかわいい音がしちゃってますねえ♪ わかりません？ まあ、ケツ穴がぐちゃぐちゃぬちゃぬちゃうるさいですからね♪ んー、じゃあよく聞こえるようにしてあげます……こうやってえ、思いっきりお尻を下げて、一気にずんっ♪ んっ、やああっ♪ くう、っはっ、ほらっ♪ ぱちゅっ♪ ぱちゅっ♪ ぱちゅっ♪ ってっ♪

(10:01)

そうですそうですっ♪ バックから突いてると、まだまだしっかり中身の詰まった、私のたぶたぶおキンタマっ♪ ぶらんぶらん揺れちゃって、へえ〜っ♪ せっ、先輩の垂れ下がったキンタマをお♪ べちべち引っぱたいちゃってるんですうっ♪ 思いっきり、ひいっ♪ メスを孕ませる、オスとしての格の違いを……っ♪ オチンポだけでなく、お睾丸でもわからせてあげちゃって、るう♪ んあ、はっ、うあっ♪ ああ、先輩はメスなんでしたっけ♪ それじゃああんまりキンタマ大きくても意味ないですよえっ、ザーメン注ぐ相手もチャンスもないんですもんね、んん〜っ♪

(10:57)

うわあっ♪ よく見たら先輩の短小おちんちんも大変なことになっちゃってるじゃないですかあ♪ あっはは、バカにされてるのに、いっ♪ んはっ♪ 怒って大きくなるどころか、ふにゃふにゃのまんま♪ しかもよだれだらだら垂らしちゃって、気持ちよさそ〜っ♪ シーツの染み、どんどん大きくなっていきますよお♪ とろとろ、とろとろっ♪ んうっ、ふふっ♪ ぶっくり膨らんだ私の亀頭で、オチンポ汁の溜まったところをぐいぐい押し潰されるとお……先っぽからとろおり♪ 溢れてきちゃう♪ ほーんと、おもちゃみたいに単純ですよえっ♪

(11:57)

もう中も外もびっちゃびちゃでたぶたぶでえ……んっふふ♪ これ、さっき射精したときに栓がぶっ壊れちゃったんですかあ？ だからこんなに、アナルもオチンポもゆるゆるになってるんですよえ♪ うあっ、ふうう♪ ふふっ、次お邪魔するときは、オムツでも持ってきてみましょうか♪ いやあ、赤ちゃんじゃなくて介護ですよ、か・い・ご♪

☆調子よく「先輩」を蹂躪していた後輩ちゃん。しかし、ふとした言葉から一抹の不安がよぎる。

(12:29)

んっひいい♪ や、やあだもう、先輩ってば守備範囲広すぎっ♪ ゆるゆる股間を手厚く介護されるとか、そんなのでまでっ、くうっ♪ あっ、アナルぎゅうっ♪ しちゃうんですねえ♪ んあ、あーっ♪ こっ、これはちょっと先行きが不安になってきましたっ♪ こんな淫乱メス穴、絶対に誰のチンポでももぐもぐしようとするに決まってますもんっ……
くうっ、ううんっ♪

(13:09)

しかたないですね、もう！ お尻穴にピストンしながら、身体の中から外から叩きこんであげますから！ ねっ、せーんぱいっ♪ 私知ってるんです、アナルの一番弱いところお♪ ……一回イって、小さくしぼんでたのにい……お尻が気持ちよくしてもらってるからって、うらやましくなって♪ また、膨らんできちゃった……前・立・腺♪ さっきもぐりぐりされたから、知ってるよね？ ここ突かれちゃったらどうなっちゃうか♪

(13:53)

はいダメで一す、待ちません♪ 前立腺ピストン、開始〜っ♪

(14:00)

あうっ♪ んくう、うう♪ あっはは、やっぱりこれがいちばんっ……締まります、ねえっ♪ ん、ああ♪ でもっ、全然奥までオチンポ出し入れする必要もなく、ええ♪ くいくいって腰を使って、ぱんっぱんにい……膨れ上がった、亀頭でぐりっ♪ ぐりっ♪ ってほじってあげるだけで、んっ、ひゃああ♪ 喉の奥から泣いてるみたいな声が出ちゃうっ♪

☆「先輩」は「私のもの」だと、言い聞かせるように何度も後輩ちゃんは腰を打ちつける。「ただのおもちゃ」だったはずの存在に対するにはあまりに熱っぽい態度で、甘い言葉、厳しい口調、あらゆる手を用いて畳みかけ、自分を刻みつけようとする。

(14:36)

自分の思い通りにならない身体、切ないなあ♪ でも気持ちいいなあ♪ どんどん自分がなくなっ……は、あっ♪ 私のものになっていっちゃう♪ お前の脳みそも、お前の童貞チンポも、お前のケツ穴も……お前自身も、ぜーんぶ私のものっ♪ 嬉しいだろ？ ぽこっと盛り上がった前立腺に、私のオチンポの先っぽが当たるたびに……っ♪ お尻の穴の中から、背筋を伝ってっ、ふっ、うあ、あっ♪ 身体中が隷属したくなるっ♪

(15:22)

うう、くっ、んっ♪ そんなに、私に所有されたいの？ 私にいじめてほしいのっ？ 自分より小さな女の子に負ける短小チンポの分際でっ……ザーメン捨てられるだけの変態アナル便器の分際で♪ ……んんっ♪ いいよ、私のものにしてあげる♪ 男の子も人間も、全部捨てて私のものになあれっ♪ はあ、あっ♪

(15:55)

ねっ♪ 後輩にアナル掘られて感じちゃってもいいし、柔らかい女の子の身体に覆いかぶさられて情けない声出しちゃってもいいよ♪ だってお前は私のものなんだもん♪ 私がいって言うてるんだからどんなに恥ずかしくたっていいの♪ んあっ♪ ほらもっと声出して気持ちよくなあれ♪ オチンポはとろとろ我慢汁垂れ流して、気持ちいいって言うてるんだから♪ お前も気持ちいいなら気持ちいいってちゃんと言え♪

(16:34)

さあ、そろそろ仕上げ♪ アナルちゅこちゅこほじくられて、もう身体中敏感になりきってるからすぐにイけるよな♪ もう逃げられない、次にイっちゃったらもうお前はお前じゃなくなっちゃう♪ く、うっ♪ ああそうだ、私のものってわかるように印付けてあげる♪ 勃起した前立腺に、べとべと粘っこくて絶対に取れないザーメン汁♪ 種汁♪ オチンポミルク♪ しっかり塗り塗りして、お尻の穴を見ただけで所有されてるってわかるようにい……っ♪

(17:18)

ほら、メスイキしょ？ 先輩♪ んっ、くっ♪ 私と……一緒につ♪ オチンポイって♪ お尻でイって♪ 身体中、存在全部っ♪ 後ろからぎゅう～ってしてあげるからっ♪ 先輩は私のオチンポをぎゅう～ってして、えっ♪ イくよ♪ イく、イきますっ、いくっ、いく、うううう～～～っ♪

(射精)

☆急速に熱が冷めていくことを恐れているのか、乱暴な抱擁を緩めようとしないう後輩ちゃん。いつものような憎まれ口を叩いてはいるが、精彩を欠く。

(17:53)

はあ……♪ あ、はああ♪ 二本のオチンポが、どぶっ♪ どぶどぶどぶっ♪ って、うんっ♪ 中と外でそれぞれ、射精しちゃってる……うっ♪ まあ、私のに比べると先輩の射精、ふにやってしたオチンポからとぶとぶ白いお汁が流れてるだけ……とってもみっともない、ですけどっ♪ しかたないですね、だってあっついお汁で前立腺、びしゃびしゃ叩かれちゃってますもんね♪ んあ、うああ♪ まだ、出てるう……♪

☆後輩ちゃんがにわかに喋るのをやめ、すがりつくような、懇願するような声で、ただ「先輩」を呼ぶ。珍しく後輩ちゃんにはなんの凶暴さも見えない、ただ震えている。

(18:54)

……先輩、先輩っ。先輩……っ♪

☆吐息だけが交じりあう長い沈黙のあと、身を起こした後輩ちゃん。普段の小憎らしい調子で、不機嫌そうに「先輩」をなじる。

(19:04)

そろそろ、オチンポ抜きますね……う、ああっ♪ ……ふう。うーん、ちょっと甘やかしすぎましたかね。なんですか？ その幸せそうな、だらしない表情は。うわ、お腹ポッコリしちゃってるじゃないですか。今度は妊娠ごっこですかぁ？ 中に入ってるの、私のザーメンでしょ……キッモ。はぁ……ほんとに先輩って、救いようのないマゾで、メスで、肉便器ですよ。おまけに、後輩に手を出す犯罪者だし。おい、やめろその顔。ムカつくんだよ。

☆後輩ちゃんは気分を害したというていで、そっけなく「先輩」を置き去りにする。

(20:00)

……もういいです。帰ります。こんなザーメンくさい部屋にいたくないですし。片付け？先輩が散らかしたんでしょ。そのチンポ汁まみれのシーツとか、親御さんに見つからないといいですね。はぁ？ 次？ こんな醜態さらしといて、次があると思ってるんですね。つくづくおめでたい頭ですねえ。

☆最後まで、冷たい態度を崩さない。しかし、部屋を出る瞬間の一瞥には、今までとは明らかに違う光が宿り、声色にも何気ないむずがゆさが隠れきれないでいたのだった。

(20:34)

それじゃ、さようなら……また明日、学校で。

(終わり)